



海のたより



4月ポイント、ラグーナ合同
第2レースのスタート
中央の3173がセレスティーン
goodなスタート

MCC初優勝の
セレスティーン

目 次		行 事 予 定
表 紙	4月ポイント、ラグーナ合同レース	5月16日 海陽ハーバー運営会議
P 2	初優勝！セレスティーン	5月17日 三河湾合同レース
P 3	4月ポイントレース成績表	(MCCチャンピオンシップ)
P 4	五ヶ所湾合同レース、ベベ優勝(TSF)	5月24日 エリカカップレース
P 5	熊野クルージング、ホーネット	6月21日 MCCカップレース(早朝)
P 6	会員艇の紹介「シロート」	6月28日 スモールクルーザーレース

ええ～、ホント、俺達が優勝！？

セレスティーヌ 加藤 誠

そんな気持ちの初優勝でした。

数年前からMCCに参加させていただいていますが、優勝は愚か、上位にもなかなか入れず、レースの後は反省会と称して飲み会が催される。そんなセレスティーヌが何と優勝してしまいました。

皆様のお陰か？奇跡の神風のお陰か？はたまた我々の実力か？

いろいろ考えてみも、「我々の実力！」という結論には、なかなか到達しませんが、兎にも角にも、セレスティーヌは優勝してしまったのです…。



昨年は船を替えて、1年ぶりに意気込んで参加させて頂いたのですが、当然のことではありますが、船を替えただけで実力が上がるわけもなく、「船を替えても結果は同じだ」と沈んでおりました。

しかし、今年はセールも新調したことだし「何としても優勝するぞ！」と気迫だけは盛り上がっておりましたが、気迫が奇跡を呼び込んだのか？一戦目にしてまさかの優勝です。本当に嬉しいです。

それにしても、我々にはラッキーなレースでした。

第1レース。風は弱いが、我々のレベルにはちょうどいい！

練習したこと（今年に入って3回程練習したのです）を思い出しながら

「ミスを最小限に抑えて頑張ろう！」なんて、いつになく前向きな声を掛け合いながら、入念にタイミングを計り、いざスタート！

スタートはマズマズ！よーしいくぞ！前日に船底掃除をした甲斐あってか、うまく走ってる感じ。

上マークでライバル艇達とミート、しかし、ここからがセレスティーヌの実力というか、マークを廻ってスピランに入ると徐々に離され、ジャイブを打つとまた離され、終わってみると、なんかいつもの定位置くらい。まあ、こんなもんかと思いつつ2レース目を待つ。



第2レース。1レース目より good なスタート！

上マークでライバル艇達を見て「オッ、いい位置だぞ！」と思いながらスピラン張るも、折からの微風のなか、悪戦苦闘しながら下マークに到達。

「ラッキー、ラッキー、微風の為か離されてない！でも、もう1レグスピランが有るよなあ」なんて思いながら上マークに…。

上マークアプローチ。「おお？まだまだ良い位置だ！」でもそこから、奇跡の始まり。

「ン…？ン…？風が変わった？次も上りレグだよ。」なんて言いながら上マークを廻ったあたりから、風も吹き上がり艇速もグングン加速。

「エエ？俺達の為に神風が来た？？いい風取ったかな？

(写真右先行するセレスティーヌ、左がホーネット)

hornetより前走ってるよ！」「おまけにコース短縮だ！お願いだからこのままイってくれ…」



初優勝！本当に嬉しいです。

2回目、3回目が有るように、今後も頑張ろうと思っておりますので、宜しくお願いしますありがとうございました。

4月ポイントレース、ラグーナ合同レース成績表（合同レース全体の成績表はHP掲示板をご覧ください。）

		4月合同レース 第1レース						4月合同レース 第2レース							
		名称		4月合同レース 第1レース				名称		4月合同レース 第2レース					
		コース		S-上-サイド-下-F				コース		S-上-下-上-F(短縮)					
		距離		2.0 マイル 0.6				距離		4.0 マイル 1.0					
		風速		5m 以下				風速		5m 以下					
スタート		10:30:00				スタート		12:00:00							
S No	艇名	MRC	到着時刻	着順	所要時間	修正時間	順位 得点	到着時刻	着順	所要時間	修正時間	順位 得点	合計 得点	総合 順位	得点
3173	C'elestine	1.016	11:04:50	3	0:34:50	0:35:23	3	13:17:02	1	1:17:02	1:18:16	1	4	1	20.25
5933	Dancing Beens 3	1.016	11:01:12	1	0:31:12	0:31:42	1	13:18:32	4	1:18:32	1:19:47	5	6	2	19
3687	Runner	0.93	11:06:49	5	0:36:49	0:34:14	2	13:25:44	8	1:25:44	1:19:44	4	6	3	18
4774	Armis 5	1.021	11:05:36	4	0:35:36	0:36:21	5	13:17:32	3	1:17:32	1:19:10	2	7	4	17
4832	Odyssey	0.98	11:08:20	6	0:38:20	0:37:34	7	13:21:20	5	1:21:20	1:19:42	3	10	5	16
5824	Hornet	1.044	11:04:10	2	0:34:10	0:35:40	4	13:17:17	2	1:17:17	1:20:41	6	10	5	16
4639	Gamela 3	0.95	11:09:26	7	0:39:26	0:37:28	6	13:25:37	7	1:25:37	1:21:20	8	14	7	14
4825	BeBe	0.918	11:12:59	9	0:42:59	0:39:28	8	13:28:00	9	1:28:00	1:20:47	7	15	8	13
4932	Lutris	0.992	11:12:09	8	0:42:09	0:41:49	9	13:24:24	6	1:24:24	1:23:43	9	18	9	12

コメント

第1レース、微風の中予定時間どおり一発でオールフェア - スタート、安定した微風で初レースとしては皆さんトラブルも少なくできたと思われま
 すが、ホーネットはサイドマークでマークタッチ、せっかくのリードを捨ててしまいました。
 第2レース、やはり微風の中を一発スタート、風はさらに弱くこのまま行くかに思われたが、トップのベンガルがコース短縮で下フィニッシュする頃
 から風が振れ始め西から南の風に大きく振れる、風も15kほどにも上がった。後続の集団が下を回航する時に風が振れたため下マークは大混乱、
 この風をフルにつかめた小型艇が息を吹き返し一気に先行艇と差を詰め上位に食い込んできた。
 せっかく先行していたホーネット、アルミスも良い風を受け一気に追いついてきたセレスティーヌに抜かれ逆転されてしまいました。
 優勝はセレスティーヌがMCC初優勝おめでとうございます。2位には手堅くダンシングビーンズが3位は僅差でランナーが獲得した。
 多少の接触はあったようですが大過なし、猪股氏の負傷もまあまあ・・・アフターパーティーは蒲郡荘でバーベキュー、上天気にも恵まれ楽しい一時
 でした。



MCC海のたよい5月号MCC海のたよい5月号MCC海のたよい5月号

べべ、五箇所湾レース、TRSクラス優勝！！

ウラナミの中村です。今回、べべで五箇所湾レースに参加させて戴きました。

べべはこの夏、パールレースに参加予定で、練習も兼ねて今回のレースへ参加です。メンバーは、べべから都築さんと二村さん、メリーサンから田中さん、ウラナミから嶋田さんと私の6名で参加しました。

スタート10分前にメインセールのグループが1ヵ所外れているのが分り急遽セールを降ろして入れ直すことになってしまった。メインセールが揚がった時には既にスタート時間を過ぎていて遅れてスタート、リコー艇よりも遅れてスタートとなった。どれだけ離されずに付いていくかの予定が、スタートから他艇のスターンライトを見ながらとなってしまった。

渥美沖では、いつものナイトレースの様に風が無くなり、先行艇が待っていてくれる状態になりスタートの遅れを取り戻すことができた。取り戻すどころが、べべはプロパコースを維持しじっと我慢、他艇はわずかの風を追い右へ左へ、結果はべべの後ろに10艇近く...

その後風が吹いてきて神鳥を越えた時にはほとんど前に行かれてしまいました。嶋田さんが一言「もう一回風が止まるよ」

嶋田さんが言ったとおり、安乗沖でまたも風が無くなり、またも追いつくことができ船団の中盤までに。見える範囲内には8割方が居る状況、「これなら上位入賞可能性大！」

風が吹き結果的にはじわじわ置いていかれたが、走りはそう悪くない！

布施田水道でも先行艇は小さいものの20艇近く見える。後はTRSのトップ艇があの中に居るのか、すでに見えないほど前方を走ってフィニッシュしているのか、それでも上位入賞は確定だ。

嶋田さんと私はパーティーに参加せず帰宅の途に、帰りの電車の中で都築さんからクラス優勝の連絡があり、美味しいお酒を飲みながら帰路につきました。



パーティーにて、べべチーム

レース後半では他艇から大きく離され単独レースになるかと心配していましたが、終始、他艇と同じ位置を走れ楽しくレースができました。

このようなレースに参加させて戴いた事をべべに感謝します。7月のパールレースも楽しみです。(成績表はHP掲示板を見てください。影虎がIRCクラス2位、ホーネットは5位でした。)

ホーネットのゴールデンウィーク、熊野クルージング

中村

まずは五ヶ所湾合同レース参加に向けて要員調整、正木、北河、十八日、鳥居が都合つかず、少ない人員で参加するのを覚悟していたところ、アルミスから稲垣、佐々木、梅村の3人に応援いただけ要員確保。

レースはゲストも含めて9人、レース後のクルージングは中村、石原と多田の3人で計画。予報によれば連休中は天候も安定するようで昨年同様に熊野クルージングを計画し進めていきました。

何故か最後で準備に穴が・・・まずはチャートを忘れ形原漁港に立寄り、スタートが西浦に変更で助かりましたが、頭の中では調味料や調理道具の準備もしていたのにすっかり忘れて出航してしまいました。(年のせい?)

レースはそれなりに頑張ったものの入賞できず残念でした。VOCに到着すると早速栈橋に付く牡蠣を集めて牡蠣パーティー、ビールも程よく冷えて美味しくいただきました。此処の牡蠣は大きく中身も肥えているので蒸していただく牡蠣の美味しいこと抜群です。ぜひ皆さんも味わってみてください。



布施田水道、後続艇はまだ小さい

クルージングは予定外の十八日も陸路加わって4人、16時半からのバーベキューパーティー、今年はクルーザーミーティングも兼ねての開催、昔は場所と材料や飲物確保に気を使いましたが、最近艇別に指定席で区別されており間違いありません。成績も発表され各艇のコメント、ベベは初参加初優勝、見事です。

4日は曇り空、天気予報を確認すると明日には雨が、たいした事は無く大風もなさそう・・・予定どおり南下し九鬼に向かうことに、田舎漁港に立寄り氷の調達、ついでに魚を、かつおも考えたがピン長の塊を仕入れついでに醤油とわさびも・・・

海は穏やか、機帆走で南下、紀伊長島の東隣、錦漁港に入港、周りが高い山に囲まれた静かな港、旧市場の岸壁に係留し町を探訪、食堂、喫茶店、トイレ、etc、昼食に仕入れたマグロを捌くが刺身包丁がない、家庭用の包丁で・・・切れ味悪いが何とか、脂がよくのり美味しくいただく。

錦を出港し紀伊大島の東側を通過し九鬼に一直線、海は穏やかで順調に15時過ぎには入港、先客が内側に係留しており我々は外側に。早速M氏に挨拶、明日の漁を確認し体験させていただき予定に。スーパーで不足品の買物をして夕食の準備。

五ヶ所の牡蠣とM氏に差し入れていただいたサバを肴に棧橋で小宴会、先客は熱海から立ち寄った「エコポイント」その後に入港してきた浜名湖の「みかん」も合流し賑やかに情報交換、「エコポイント」は閉門あたりの予定だがそのまま戻るか、日本海を北上するかそのときに考えるとか・・・「みかん」は周参見までいっての帰り道、マストを折倒しての浜名湖への入出港、都度クレーン車をお願いしているようです。昨日は三谷の「ジョアンナ」も居たとのことでした。

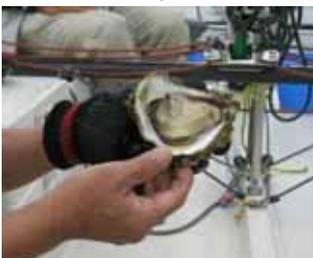


お風呂を借りてサッパリし就寝、4時半起床、雨だ。5時には出港し漁場に、勢一杯手伝ったが大物は少なくきびなごと小あじが主、聞けば今日は少な目の漁、でも上陸しての選別、相手が小さいだけに手間はかかる、くたびれた。お土産に大きなヒラメときびなごと小あじをいただいて朝食の準備。きびなごは頭と腹、骨をとり丁寧に並べるときれいいた酢味噌で食べるのだがあいにく酢がない。小あじはから揚げがよいのだが、こちら油がないので煮付けにしよう。ヒラメは家庭用の包丁で2枚に開き刺身と煮付けに。

朝食はきびなごとヒラメの刺身、どちらも超美味しい、手間を掛けた甲斐がある。朝食後、雨は降っているが大王に向けて出港、「みかん」はVOCが目標で既に出港した。北の風で上り一杯、紀伊大島の沖、風波も上がり雨も降り続く、風も東に振れているが大雨に嫌気が・・・大王を諦めVOCに目的地を変えてタック、岸に寄ると贅湾の入口だ。もう一度タックし五箇所湾入口に。VOCではシャワーを浴びてから夕食に魚の煮つけを、小あじは骨まで気にならない、平目の煮付けは最高だ、またまた牡蠣も蒸して・・・明るいうちから寝付いてしまった。

6日、4時半起床、明日も雨が残るようだ、風雨あるが帰りたい、暫く様子を見ようと待機、ゆっくりと朝食をいただいた後に6時半出港。布施田水道通過までは順調であったが大王までが上り一杯、時には20k超北の風だ。波も悪く体調崩す、9時半過ぎに波切漁港に入港、風が北西に変わるまで待ちたい。

青空が広がり雨は止んだが風は変わらない、早めの昼食に田中料理店のかつお茶づけをいただき12時出港、途中でフェンダーを流したことに気づき再出港が12時40分。風は15k程度に、北風には変わらない、上り一杯で頑張る。やはり又雨模様になった。



的矢沖の頃から風が西に振れだした、ヘディング4,50度が3,40度にそして10,00度に、石鏡沖、神島が正面にぼんやり見え出した。追い潮にも乗りリーウエーも少なく一本で伊良湖水道に入れた、良かった。結局雨は降り続きカッパが脱げない、三河湾に入ると風は5k以下に、朝家族に聞いたとおり三河湾には風はない、19時前によく帰港、舳いを取れた。天候が期待はずれだったが美味しいものを沢山いただいた楽しいクルージングは終了した。お疲れさまでした。



パーティーでのクルージングメンバー

会員艇の紹介 「シロート」グループ

連休前の1日蒲郡市民マリン広場、棧橋に「シロート」グループを訪ね取材してきました。

「シロート」グループは福田氏が創立当時からのリーダー、会社の先輩が名城大ヨット部の創始者S氏でした、ニス塗りのスナイブ、OB艇に試乗させていただいたのがS37年。

このときの感激が忘れられず翌S38年、社内にヨット同好会を立ち上げスナイブを進水、先輩の紹介で三谷水産高校ヨット部と同居、S40年蒲郡ヨットハーバーに移動、強風でも出港するクルーザーにあこがれて4人が積立を開始。1年後に中古艇の売りを聞き資金不足であったがカリニタ(旧アクアマリン)を手中に「シロート」と命名しました。

早速MCCに加入、スピンを揚げれば勝てる時代だったそうです。



艇内で談笑するメンバー



その後、NZ25を進水させ五ヶ所湾レースにも何度も参加、強風で強みを発揮。MCCレースには皆勤賞、メンバーの山田氏にはレース委員長、広報委員長も歴任していただきました。

メンバーは中日新聞(現、元)勤務の皆さんで代表オーナーは山田邦彦氏。

サラリーマンの性、時と共に役が付き職場も転勤したりグループの活動も鈍くなりました。その後ベネトウファースト305に乗換え、現在は福田、梅村、山田、長縄、河村の5人、平均65才のメンバーで活動。福田氏は東京勤務が長く、自宅は海老名、海老名から月の半分はヨット泊に来ています。

最近では広場の掃除当番日が定例の集合日、集まれば三河湾、鳥羽方面のクルージングを楽しんでいます。この連休は答志島にクルージングをしてきます。



コックピットの福田氏
背景のサイロは取り壊し中

